



2026年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年 2 月13日

上場会社名 株式会社 ニレコ 上場取引所 東  
コード番号 6863 URL <https://www.nireco.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中杉 真一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 佐々田 卓也 TEL 042-642-3111  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (2025年 4 月 1 日～2025年12月31日)

( 1 ) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年 3 月期第 3 四半期	7,646	1.0	1,047	△18.9	1,116	△19.9	824	△18.7
2025年 3 月期第 3 四半期	7,570	7.5	1,292	24.8	1,393	24.7	1,013	30.6

(注) 包括利益 2026年 3 月期第 3 四半期 977百万円 (30.2%) 2025年 3 月期第 3 四半期 751百万円 (△34.2%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年 3 月期第 3 四半期	111.64	110.07
2025年 3 月期第 3 四半期	136.96	135.03

( 2 ) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年 3 月期第 3 四半期	19,735	16,400	82.7
2025年 3 月期	19,352	16,673	85.7

(参考) 自己資本 2026年 3 月期第 3 四半期 16,312百万円 2025年 3 月期 16,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 3 月期	—	24.00	—	71.00	95.00
2026年 3 月期	—	35.00	—		
2026年 3 月期 (予想)				50.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年 3 月期の連結業績予想 (2025年 4 月 1 日～2026年 3 月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	2.3	1,850	△3.0	1,950	△3.9	1,390	△11.0	189.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は2025年11月13日開催の取締役会の決議に基づき自己株式を取得しています。連結業績予想の「1 株当たり当期純利益」については、2025年12月31日までの自己株式の取得の影響を考慮しています。

## ※ 注記事項

(１) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 １社 （社名）応用光研工業株式会社、除外 一社 （社名）

(２) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(３) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(４) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年３月期３Ｑ	7,750,159株	2025年３月期	7,750,159株
② 期末自己株式数	2026年３月期３Ｑ	592,522株	2025年３月期	337,677株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年３月期３Ｑ	7,382,794株	2025年３月期３Ｑ	7,398,137株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 .....	２
（１）当四半期の経営成績の概況 .....	２
（２）当四半期の財政状態の概況 .....	３
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	３
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	４
（１）四半期連結貸借対照表 .....	４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	６
四半期連結損益計算書 .....	６
四半期連結包括利益計算書 .....	７
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	８
（継続企業の前提に関する注記） .....	８
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） .....	８
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） .....	８
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） .....	８
（セグメント情報等の注記） .....	９

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の通商政策による影響や中国における不動産市場の停滞の継続などがあったものの、緩やかな景気の持ち直しの動きが見られました。我が国においては、雇用・所得環境が改善する中で企業の設備投資とともに個人消費にも持ち直しの動きが見られました。また、為替が円安基調となる中、景気は緩やかな回復基調となったものの、消費者物価の上昇が続きました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要取引先である半導体や電子部品、鉄鋼、フィルム、印刷、食品など各メーカーの設備投資は、業種により強弱はあるものの、回復基調が続きました。

このような状況の中、当社グループはいかなる環境下においても成長できる企業グループの実現に向け、引き続き当社グループのコア技術である画像処理、センシング及び光学技術の強化を進めました。また、今後の事業の一層の成長を図るべく、2025年10月30日に計測機器及び光学結晶の製造販売を行う応用光研工業株式会社を子会社化するなど、事業の拡大に向けた取り組みを行いました。

これらの活動に加え、特別利益として、資産効率向上の観点から八王子市檜原町の土地建物を売却したことにより固定資産売却益が発生しました。また、応用光研工業株式会社の子会社化に伴う負ののれん発生益等を特別利益に計上しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高7,646百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益1,047百万円（前年同期比18.9%減）、経常利益1,116百万円（前年同期比19.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益824百万円（前年同期比18.7%減）となりました。

また、受注残高は5,767百万円（前期末比11.7%増）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間末において、当社グループに加入した応用光研工業株式会社の受注残高642百万円を取り込んでいます。

応用光研工業株式会社の受注残高取込内訳：

検査機事業 444百万円

オプティクス事業 198百万円

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### ①制御機器事業

売上高 4,198百万円（前年同期比4.6%増）

セグメント利益 971百万円（前年同期比3.7%減）

受注残高 3,176百万円（前期末比17.4%増）

内訳：

鉄鋼・非鉄金属業界分野向け

売上高 2,307百万円（前年同期比16.1%増）

損益 490百万円（前年同期比 7.5%増）

受注残高 2,381百万円（前期末比 14.5%増）

機能性フィルム・軟包材分野向け

売上高 1,890百万円（前年同期比 6.6%減）

損益 481百万円（前年同期比13.0%減）

受注残高 794百万円（前期末比 27.0%増）

鉄鋼・非鉄金属業界分野では、鉄鋼メーカーにおいて高品位鋼、環境用途、設備集約などについての設備投資の動きが見られ、売上高・利益ともに前年同期比で増加しました。受注についても高水準に推移し、受注残高は前期末比で増加しました。

機能性フィルム・軟包材分野においては、二次電池業界から製造装置メーカーへの発注は引き続き停滞していることなどから、売上高・利益ともに前年同期比で減少しました。受注については、耳端位置制御装置や張力制御装置の受注が回復基調となったことに加え、印刷品質検査装置へのまとまった受注があったことなどから、受注残高が前期末比で増加しました。

この結果、制御機器事業全体では増収減益となりました。

## ②検査機事業

売上高 1,127百万円 (前年同期比0.6%増)  
 セグメント損失 136百万円 (前年同期セグメント損失42百万円)  
 受注残高 903百万円 (前期末比 52.1%増)  
 ※うち応用光研工業株式会社の受注残高取込額 444百万円

検査機事業においては、ペロブスカイト太陽電池などの新型発電方式に向けた取組や鉄鋼・非鉄金属業界向けのAI弁別機能などの開発を進めています。

この結果、売上高は前年同期比で微増となったものの、先行投資による費用の増加などの影響から、利益面についてはセグメント損失が前年同期比で増加しました。受注残高については、当社グループに加入した応用光研工業株式会社の受注残高を444百万円取り込んだことから、前期末比で大きく増加しました。

当事業においては、応用光研工業株式会社の放射線計測機器の売上が第4四半期連結会計期間にまとまっていることなどから、業績の改善を見込んでいます。

## ③オプティクス事業

売上高 1,973百万円 (前年同期比7.6%減)  
 セグメント利益 742百万円 (前年同期比9.7%減)  
 受注残高 1,552百万円 (前期末比 12.3%減)  
 ※うち応用光研工業株式会社の受注残高取込額 198百万円

半導体製造・検査装置業界向け光学部品の売上高は堅調に推移したものの、レーザ装置の売上がひと段落したことなどにより、売上高は前年同期比で減少しました。利益面においては、売上高の減少に加え、前期から連結子会社となった京浜光膜株式会社が業績改善の途上にあることなどから減益となりました。受注については、光学部品の受注を生産能力との兼ね合いから一部を抑制したことなどにより、受注残高は前期末比で減少しました。なお、レーザ装置については第4四半期連結会計期間に複数台の新規受注を見込んでいます。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて382百万円増加して19,735百万円となりました。

これは主に仕掛品の増加431百万円、商品及び製品の増加325百万円、投資有価証券の増加305百万円、電子記録債権の増加296百万円、現金及び預金の減少787百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少434百万円によるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末に比べて655百万円増加して3,334百万円となりました。

これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加240百万円、長期借入金の増加235百万円によるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べて272百万円減少して16,400百万円となりました。

これは主に自己株式の取得による影響額△503百万円、その他有価証券評価差額金の増加209百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、現在までの業績進捗などを鑑み、2025年5月14日公表の予想数値から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,815,230	4,027,362
受取手形、売掛金及び契約資産	3,877,134	3,442,669
電子記録債権	534,433	830,775
商品及び製品	1,393,825	1,718,906
仕掛品	1,239,139	1,670,776
原材料及び貯蔵品	1,282,535	1,228,596
その他	128,410	101,288
貸倒引当金	△2,710	△4,465
流動資産合計	13,267,998	13,015,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,616,047	1,573,866
機械装置及び運搬具（純額）	191,357	220,341
工具、器具及び備品（純額）	145,260	184,031
土地	2,017,454	2,082,034
建設仮勘定	—	23,827
有形固定資産合計	3,970,121	4,084,101
無形固定資産		
のれん	23,822	9,528
リース資産	9,106	5,632
その他	67,346	96,461
無形固定資産合計	100,274	111,622
投資その他の資産		
投資有価証券	1,560,952	1,866,436
長期貸付金	21,012	16,665
退職給付に係る資産	191,909	223,978
繰延税金資産	125,827	107,630
破産更生債権等	18,704	18,704
その他	161,666	360,531
貸倒引当金	△65,551	△69,797
投資その他の資産合計	2,014,522	2,524,149
固定資産合計	6,084,918	6,719,873
資産合計	19,352,917	19,735,782

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	506,487	483,844
1年内返済予定の長期借入金	16,574	257,250
リース債務	4,424	2,875
未払費用	566,261	458,054
未払法人税等	356,794	167,743
未払消費税等	154,923	113,167
契約負債	137,094	130,533
役員賞与引当金	49,980	21,937
工事損失引当金	30,476	30,875
その他	130,338	348,938
流動負債合計	1,953,354	2,015,221
固定負債		
長期借入金	116,659	351,856
リース債務	5,040	2,962
長期未払金	761	1,280
繰延税金負債	298,740	424,293
役員退職慰労引当金	162,010	357,377
退職給付に係る負債	66,550	80,011
資産除去債務	76,546	101,806
固定負債合計	726,309	1,319,589
負債合計	2,679,663	3,334,811
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,094,819	3,094,819
資本剰余金	4,144,491	4,161,455
利益剰余金	8,521,013	8,559,280
自己株式	△236,878	△740,009
株主資本合計	15,523,445	15,075,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	693,635	902,830
為替換算調整勘定	311,361	289,510
退職給付に係る調整累計額	52,265	45,087
その他の包括利益累計額合計	1,057,262	1,237,428
新株予約権	72,044	72,044
非支配株主持分	20,500	15,951
純資産合計	16,673,253	16,400,970
負債純資産合計	19,352,917	19,735,782

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	7,570,101	7,646,581
売上原価	4,392,295	4,604,224
売上総利益	3,177,805	3,042,356
販売費及び一般管理費	1,885,495	1,994,370
営業利益	1,292,309	1,047,985
営業外収益		
受取利息	6,331	6,117
受取配当金	82,863	64,136
その他	27,855	18,953
営業外収益合計	117,050	89,208
営業外費用		
支払利息	2,047	1,293
投資有価証券売却損	4,244	—
為替差損	8,648	14,641
その他	896	4,971
営業外費用合計	15,837	20,906
経常利益	1,393,522	1,116,287
特別利益		
固定資産売却益	—	32,840
負ののれん発生益	55,232	64,054
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	—	9,163
特別利益合計	55,232	106,057
税金等調整前四半期純利益	1,448,755	1,222,345
法人税等	432,270	402,413
四半期純利益	1,016,484	819,931
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,212	△4,305
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,013,272	824,236



## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 2024年４月１日 至 2024年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 2025年４月１日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,016,484	819,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△220,380	209,195
為替換算調整勘定	3,819	△44,109
退職給付に係る調整額	△48,721	△7,178
その他の包括利益合計	△265,282	157,907
四半期包括利益	751,202	977,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	748,202	982,387
非支配株主に係る四半期包括利益	3,000	△4,549

## (３) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年11月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式261,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が503,130千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が740,009千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額及び負ののれん発生益は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	209,770千円	188,095千円
のれんの償却額	14,293	14,293
負ののれん発生益	△55,232	△64,054

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	制御機器 事業	検査機 事業	オプティ クス事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,012,049	1,121,116	2,136,855	7,270,020	300,081	7,570,101	—	7,570,101
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,012,049	1,121,116	2,136,855	7,270,020	300,081	7,570,101	—	7,570,101
セグメント利益又は損失(△)	1,009,383	△42,099	822,253	1,789,537	△40,434	1,749,103	△456,794	1,292,309

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△456,794千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結累計期間において、京浜光膜株式会社の株式を取得し子会社化したことにより、「オプティクス事業」セグメントにおいて、負ののれん発生益を認識しています。当該事象による負ののれん発生益の計上額は55,232千円です。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれていません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日至2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	制御機器 事業	検査機 事業	オプティ クス事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,198,425	1,127,443	1,973,468	7,299,336	347,245	7,646,581	—	7,646,581
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,198,425	1,127,443	1,973,468	7,299,336	347,245	7,646,581	—	7,646,581
セグメント利益又は損失(△)	971,792	△136,447	742,538	1,577,883	△17,527	1,560,356	△512,371	1,047,985

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△512,371千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結累計期間において、応用光研工業株式会社の株式を取得し子会社化したことにより、「検査機事業」及び「オプティクス事業」セグメントにおいて、負ののれん発生益を認識しています。当該事象による負ののれん発生益の計上額は64,054千円です。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれていません。